

0840

| 図法製図 II

| 2 単位 (通信授業 1 単位、面接授業 1 単位)

田中克明教授、牧野良三教授、桜井隆樹講師、富谷智講師、山本博一講師

授業の概要と目標

私達の生活を成り立たせているさまざまな情報の図的表現の方法に製図がある。製図は狭義には建築設計や製品製造など産業における普遍的な伝達手段で、国際的に通用する工学的言語である。また、レンダリングやパースも製図と相まってデザイン表現の主要な方法である。特に、工芸工業デザインの各領域や工芸において基本となる表現技法とされている。

通信授業では、製図の実際的技能を、「図法製図 I」の「図法」で習得した各種投影法の理解のもとに、図面表現の技法を学習する。また面接授業では、「図法製図 I」で習得した透視図法をもとに正確なデザインスケッチを描く技法と立体を正確に把握する技術を学習する。

なお、課題の概要に記載されているように、「図法製図 II」では課題 A と課題 B が設定されていてどちらかを選択する。課題 A はプロダクトデザイン系の立体的なものの作りに関係する製図、スケッチなどの表現技術の習得。課題 B ではスペース、空間系の製図、パースなどの表現技術の習得を目的としている。

課題の概要

○課題 A 及び課題 B のどちらかを選択する。

課題 A [面接授業] スケッチと図面による立体表現
(プロダクト系) スケッチ、三面図、展開図による立体表現の学習
ペーパーモデルの制作と立体把握の学習

[通信授業] 出題 1 トレース
指定された図面を正確に描き写す

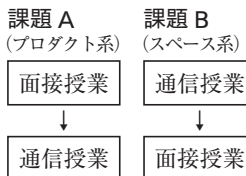
出題 2 製品の実測と製図
身の回りにある工業製品を実測し製図におこす

課題 B [通信授業] 木造小住宅の製図。
(スペース系) 資料をもとに木造小住宅の平面図・断面図・立体図を製図する。

[面接授業] 1 点透視図法で室内パースを描く。
配付資料の図面を元に 1 点透視図法で室内パースを描く。
家具調度品を描き加え着色を施し仕上げる。

* 課題については学習指導書『図法製図 II 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画



課題 A [面接授業] 教科書『ドローイング・モデリング』の内、「デザインスケッチ」の内容に順じて学習する。
[通信授業] 教科書『ドローイング・モデリング』の内、製図、製図法の内容に順じて学習する。

課題 B [通信授業] 教科書『ドローイング・モデリング』の内、製図、製図法、スペース系製図の内容に順じて学習する。
[面接授業] 教科書『ドローイング・モデリング』の内、「デザインスケッチ」の内容に順じて学習する。

成績評価の方法

通信授業と面接授業の評価の平均とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次。
[履修条件] 「図法製図 I」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。または相当の学習歴を有すること。
[備考] スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：横溝健志、小石新八編『ドローイング・モデリング』（武蔵野美術大学出版局 2003 年）
学習指導書：『図法製図 II 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

その他

参考文献：堤浪夫『図学・製図』（武蔵野美術大学 2002 年）（「図法製図 I」の教科書）